

荷電粒子核反応データファイル管理運営委員会

2007 年度第 2 回議事録

2007 年 5 月 28 日 18:30~

1: 出席者

加藤^a・片山・千葉・大西^b・平林・大塚^c・吉田 (ひ)^c、吉田 (亨)^c、伊藤^c、鈴木^{c,d}
(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2: 報告

- 連携大学院の客員教授が片倉氏と柴田氏に決定した。(加藤)
- 5/21 にブラッセル自由大学の Arnould 氏と核データ評価活動の協力について議論を行い、今後協力していくことを確認した。(加藤)
- 年報の原稿がそろってきたのでレフリーに回す。(平林)
- 辞書ワーキンググループ報告 (第 3 回)。詳細は別資料参照。(鈴木)
- Ciofi 氏の滞在が 6/30 までと変更になった。(吉田)

3: 議論

- デジタイズの数値化において、これまで x, y 軸の 2 軸から数値化をしているが、上下の x 軸、左右の y 軸の 4 軸からメッシュ補間で数値化することを提案する (伊藤) (承認)
- 技術文書の INDC レポートを必要に応じて発行してはどうか?
 1. IAEA より各センターに配布され、引用がされやすくなるので、発行することにメリットがある。
 2. Annual report の別刷りという位置づけとし、必要に応じて発行をおこなう。
 3. 昨年度の Gsys 2.2 のマニュアルを候補とし、その発行について検討する。

4: 次回

2007 年 6 月 25 日 18:30~